

特集

あさひスタイル

このまちでずっと暮らしたい

千葉県の北東部、都心から約90分・成田空港まで約50分とアクセスの良い旭市。
九十九里浜の雄大な海岸線を抱く、自然とともに生きるまちです。
美しい海と暖かな気候に恵まれ、優しい人とのつながりが生まれる旭市で、
ちよつどいい田舎暮らしをしませんか。

子育てがしやすい



待機児童

0人

年間
平均気温

約15℃

豊かな自然に
あふれている



24時間

365日

医療を提供

豚の産出額
県内 **1** 位

食べ物が
おいしい

紙おむつ
購入券
月 **3,000** 円分

定住
促進奨励金
最大
150 万円



生活のサポートが
充実している

農業産出額
県内 **1** 位



遊ぶところが
いっぱい

都市公園
12 か所



都会ではできない暮らしが待っている



毎日サーフィンを楽しむ、広い公園で伸び伸び遊ぶ、自然に囲まれてのどかに過ごす。旭市でどのような生活を想像しますか。希望の暮らしをかなえるために、市では大切な住まいの確保や移住に対する不安・悩みを解消するサポートをしています。

旭ってこんなところ

人口は約6万3千人、都心から80km圏内と程よい距離感で自然あふれる旭市。市の中心部をJR総武本線と国道126号が東西に通り、その周辺には市街地が広がり活気に満ちています。

令和4年には、生涯活躍のまち「みらいあさひ」がまちづくりがスタートしました。子育て世代からシニア世代まで、誰もが生き生きと過ごせる「ちょうどいい」が詰まったまちです。

● 穏やかな気候

平均気温は約15℃と夏は涼しく冬は暖か。温暖な気候が、暮らしやすさを支えています。北

部には干潟八万石と呼ばれる穀倉地帯と、なだらかな丘陵地帯の北総台地、南部には広大な九十九里浜が広がります。

● 食の宝庫

温暖な気候と豊かな自然に恵まれた旭市は、農産物の産出額が県内トップクラス。野菜や果物、肉に魚まで、一年を通じて新鮮な食材が手に入ります。

● 安心な暮らし

県内で最多の病床数を誇る旭中央病院は、24時間365日対応の救命救急センターを併設し、国内でも有数の医療体制が整っています。

暮らしを支える、市独自の支援制度も充実しています。

● 観光の魅力

夏には約10万人が訪れる旭市七夕市民まつりが開催されます。また、映画の題材にもなった旭市いいおかYOU・遊フェスティバルの海浜花火大会は、日本一近い距離から花火を鑑賞することができます。

四季折々のイベントや、サーフィンなどのアクティビティも楽しめます。

知って、来て、感じて

旭市が、どんなまちかを知ってもらうため、移住・定住ポータルサイト「あったか旭」では、市の基本情報や移住した人のインタビューなどを掲載しています。

そのほかにも、移住した後の生活をイメージしてもらうために、1週間程度滞在し、日常生活を体験する「お試し居住」も行っています。市内の生活環境や地元の人たち、新鮮な食べ物や自然などを通じて、リアルな旭を体験しませんか。

住まいを探す

●住宅の取得を支援

移住者の住宅取得を支援するため、最大150万円の定住促進奨励金を交付します。

また、子育て世代などの定住を支援するため、39歳以下の方が、定住の意思を持って市内の事業者から新築で家を取得した場合に、最大100万円の奨励金を交付します。

●空家・空地バンク

移住環境の向上や地域の活性化

化、まちの安全確保を目的として、移住・定住希望者や市内で文化・経済活動を考えている人に、購入や賃貸が可能な空き家や空き地を紹介する「旭市空家・空地バンク」。所有者が売りたい・貸したい空き家や空き地を登録して、買いたい・借りたい人へ市が橋渡しをします。

新たな生活拠点に

都心まで車・電車ともに約90分で、今の仕事を続けたまま暮らすこともできます。また都市部との2地域居住をするのにも良い距離感です。おひさまテラスには、コワーキングスペースがあり、テレワークにお勧め。利用中は、ベビーカーに子どもを預けることもできます。

住まいの支援など

- 旭市定住促進奨励金
- 旭市移住支援金
- 旭市若者世帯住宅取得奨励金
- 旭市空家バンク登録物件改修事業補助金
- 旭市住宅リフォーム補助金



移住・定住ポータルサイト「あったか旭」

移住を検討している人は相談を

知っていますか、旭市移住サポートセンター



旭市地域おこし協力隊
長江純一さん
(大阪府出身)

地域おこし協力隊とは都市地域から移住し、人口減少地域で地域ブランドや商品の開発・PRの支援などを行いながら、その地域への定住・定着を図る取り組みです。

問い合わせ先
旭市移住サポートセンター(☎62-7537・あさひ市民センター内)



旭市地域おこし協力隊
Instagram

令和4年10月に、旭市初の地域おこし協力隊員が着任。旭市移住サポートセンターで、移住に関する相談や情報発信を行っています。

長江隊員にインタビュー

旭ってどのようなまち

食べ物がおいしく、生活環境も良い住みやすいまちです。海があるのも魅力で、早朝に海を眺めながらのんびりコーヒーを飲むのが、移住してからできた趣味です。

地域おこし協力隊の仕事内容は

メールやリモートなどで移住相談に応じています。住まいや仕事に関する相談が多く、不動産業者やハローワークを紹介しています。できる限りのことはしようという思いで活動して「ここまでしてくれた人は初めて」と感謝されたときは、うれしかったです。また移住者交流会を定期的開催しています。まずは友達をつくることから始め、地元の人との



おひさまテラスで移住者交流会

交流を通じてライフスタイルに合ったコミュニティを築いてもらうことが目的です。

今後の目標は

子どもの頃の経験や思い出は特に大切だと思うので、子どものための活動を増やしていきたいです。自然に触れるなど、旭市ならではの活動を楽しむことで、将来さまざまな経験をした後に、このまちに帰ってきたいと思ってもらえるような、20年先を見据えた活動も重要です。

移住を考えている人へ

まずは来て、空気を吸って、食べて、見て、感じてほしいです。移住を検討している人は気軽に声をかけてください。学校やスーパーを巡ったり、チラシを見せたりと、生活することを前提とした市内ツアーを一人一人の希望に沿った内容で企画します。インターネットなどから得られる情報だけで判断するのはもったいないと思います。



合同移住相談会で旭をPR

環境の良さと充実した支援で子どもを育む



「子育てをみんなで支えあい 笑顔あふれるまち“あさひ”」の実現に向け、出産から就学期までライフステージに合わせたサポートを提供しています。市独自の充実した支援を受けて、安心して子育てをしませんか。

伸び伸びと遊び、しっかり学ぶ

広々とした12か所の都市公園で、思いっきり体を動かして遊べます。公園には、大きな複合遊具が設置されていて、小さい子どもでも楽しむことができます。海や木々などの自然に囲まれて子育てができます。

おひさまテラスでは創造力を育てるワークショップが開催され、整備された体育施設ではさまざまなスポーツを楽しみ、大原幽学記念館で歴史を学ぶなど、子どもたちの学びや成長の機会が充実しています。

教育の面では、返済不要の奨学金制度や第3子の学校給食費助成などで子どもたちの学びを応援しています。

働きながら、安心して子育て

保育所や認定こども園などの施設が22か所あり、待機児童はゼロ。看病ができないときや急用があるときには、病児保育や一時保育も利用できます。15小学校区の全てに放課後児童クラブがあり、働く親をサポートしています。

救急医療を備える旭中央病院があるので、夜中に熱を出したときや感染症にかかったときなども安心です。そのほか、紙おむつ購入券の給付や高校生までの医療費助成など、手厚い支援があります。

旭市に移住した家族に聞きました

ゆとりがあって、人が温かいまち

旭の暮らしは

都内は物価が高く人が多くて、子育てには向かないと思い旭市を選びました。こちらに来て驚いたことは、野菜が安く新鮮だったのと、公園の多さです。都内では、公園の駐車場が少なく人も多くて、ゆっくり遊べませんでした。旭市は公園が多いだけでなく、大きな複合遊具がいくつ



足田由美さん(右から2人目)

長男の出産を機に東京都世田谷区から夫の地元である旭市に移住。

もあり、小さい子どもが伸び伸びと遊べます。中でも広々としていて海が近く、船も見える「いいおかみなと公園」がお気に入りです。

旭の魅力は

イベントが多いところです。今年は家族で初めて七夕市民まつりに参加しました。規模が大きく、お神輿を担いだ息子に地元の人が声をかけ

てくれたのはうれしかったです。旭市は地元の人が自主的に開催するイベントも多いと感じます。地域を活性化するために行動を起こせる人が多いところは魅力的で、私もいつかそのような場に携わり、子どもにも地元を大切にするように育ててほしいです。市独自の支援も充実していて、定住促進奨励金や紙おむつ購入券などは、とても助かりました。

多世代交流施設おひさまテラス

人が集い、人々がつながる

令和4年4月にオープンした多世代交流施設「おひさまテラス」。屋内公園やキッチンスタジオなどを備え、幅広い世代が思い思いに過ごせます。自身の新たな可能性を発見できる場所です。



子どもたちが安心して遊べるスペース

友達と月に1回程度、屋内公園やベビーキャンプで子どもたちを遊ばせるママ友会をしています。娘がチャイルドシートの着脱でぐずるので、イオンタウン旭と同じ建物にあり、遊びと買い物がか所で済むのは助かります。さまざまなワークショップも開催しているので、娘が大きくなったら一緒に参加したいです。



松ヶ谷里実さん

結婚を機に香取市から移住。

子育て支援センターハニカム

孤立しない子育てを

子どもの遊び場や親同士の情報交換の場として親まれています。保育士が常駐し、子育ての悩み相談や保育施設への入園相談、保育サービスなどのコーディネートも行っています。



家族でハニカムに通っています



田村梓里さん

出産を機に千葉市から夫の地元である旭市に移住。

知り合いがいない環境での子育ては不安でしたが、保育士さんが親身になって相談に乗ってくれたり、一緒に遊んでくれたりするので助かります。市役所の中にあるので利用しやすいです。

娘は、ここで覚えた手遊びや運動を家でもしていて、行くのを楽しみにしています。ママ友もでき、家族みんなが大好きな場所です。

旭の英語教育

世界に羽ばたく人材育成を目指して

市では、小学1年生から英語教育を実施し、外国人指導助手(A L T)の増員や、中学在学中に英検3級の検定料を1人2回まで全額補助することで、英語力の向上を支援しています。



英語を頑張るあさひっ子



大西莉里奈さん

海上中2年。小さい頃に発音を褒められ、英語が好きに。

授業では、教科書を声に出し読む時間とA L Tの先生の本場の発音が聞けることが楽しいです。今年度は英語のスピーチコンテストに立候補して出場しました。A L Tの先生と一緒に、たくさん練習した成果を発揮できたと思います。今後の目標は、英検3級の取得と英語に力を入れている高校へ進学するために、勉強を頑張ることです。

独自の支援制度

- 高校生までの医療費助成
- 返済不要の奨学金
- 学校給食費の減免
- 乳幼児紙おむつ購入券の配布

子育て支援施設

- 子育て包括支援センター「ほけっと」
- 旭市保健センター
- 保育所・認定こども園・幼稚園
- 放課後児童クラブ

子育て情報を発信

- 子育てガイド「すくすく育てあさひっ子」
- 旭市公式LINE



旭市子育てサイト



旭市公式LINE

の扉が開く

所で安心して働けるよう、市では、さまざまで理想の働き方を探しませんか。人を紹介します。

使われなくなった
店舗を活用して、
夢を実現

起業支援

- 空き店舗活用事業
- 特定創業支援事業



空き店舗活用



特定創業支援

世代を超えた交流の場を提供するために起業

いつかやりたい、今やろう

定年したら飲食店を経営したいという夢がありました。コロナ禍で、以前よりも人生何が起るかわからないと意識するようになり、令和5年3月に起業しました。

起業に当たり、店舗は家から近い場所を探し、空き店舗活用事業を利用した人に相談もしました。

一人でも多くの人を笑顔に

介護職をしていた経験から、お年寄りの憩いと若者との交流の場をつくりたいという思いで始めました。季節に合わせた、健康に良く、手作りにこだわった料理を提供することを意識しています。料理は作り手の気持ち次第でおいしさが変われると思うので、心を

込めて作っています。

心と体は、食べた物の影響を大きく受けると思います。何かに苦しみ悲しんでいる人、ストレスを抱えている人など、いろいろな人がいると思いますが、おいしい料理を食べて、笑顔になってほしいです。

おいしい食材がそろって

なめろうや背黒イワシの酢漬は、旭市に来て初めて食べて、とても感動しました。旭市は魚介や肉、野菜など、新鮮でおいしい食材がたくさんあるので、それらの良さを生かした新しいメニューを考えていきたいです。

人とのつながりが楽しみ

休みの日は、イベントに参加することがあります。出店するときもあれば、遊びに行

くときもあります。そこでの新しい出会いで、交流がさらに広がっていくのは面白いです。

起業に興味がある人へ

「やらない後悔よりも、やって後悔」。まずは挑戦してみることが大事だと思います。起業に不安がある人は、イオンタウン旭にある「シェアキッチンめとはな」のように少量でも販売させてくれる場所でも出品し、ステップアップしていくのはどうでしょうか。一人でできることには限りがあるので、互いに声をかけ合い、協力しながら成長したいです。一度きりの人生、楽しみましょう。



遠藤たまきさん

木だまり (Kodamari)
住所：旭市二の6293-3
高山店舗B
電話：71-5130
松戸市から移住。「一人でも多くの人を笑顔にしたい」がモットー。お店はワークショップやライブの場としても提供し、さまざまな人の夢を応援しています。木が好きで「木霊」と、温かさがある「陽だまり」をミックスしたのが店名の由来。



第3章 旭で働く

未知なるキャリア

就農支援

- 旭市新規就農者支援事業
- 旭市親元就農チャレンジ支援金
- 旭市転入者農業チャレンジ支援金
- こだわり旭ブランド創出支援事業
- 旭市農林水産業後継者育成事業
- 経営発展支援事業
- 経営開始資金
- 「輝け!ちばの園芸」次世代産地整備支援事業



新規就農ガイド

暮らしを支える大切な仕事。新しい場
まざまなサポートをしています。この
旭で新しい仕事にチャレンジしてい

気候と立地を
生かした農業で、
雇用も創出

新規就農で日本一のネギ農家を目指す

ゼロからのスタート

令和4年4月に就農し、ネギを露地で栽培しています。就農のきっかけは実家が運送業を営んでいて、貨物の積載率を高められないかと考えたことです。自分で作った野菜を出荷できれば、効率的だと思いました。

えるにつれ、年齢や性別も関係なく、一緒に考えて発展させていく農業の良さを実感します。失敗と新たなチャレンジを繰り返しながら、日々変わるネギ畑の様子を見るのは面白いです。

旭市は起業する人が多いイメージがあり、ものづくりにも挑戦してみたいという思いもあったので、就農にハードルは感じませんでした。最初は農地が見つからず大変でしたが、農業をしていることが広まると、空いている土地を使わないかと、声をかけてもらえるようになりました。

日に日に面白くなる農業

農家さんとのつながりが増

今では、人を雇うこともできるようになりました。みんな農業は未経験ですが、どんな作業が上達する姿を見るとうれしいです。先輩の農家さんに、作業の様子を見せてもらったり、コツを教わったりして、日々みんなで成長していると感じます。干潟地域は特に人口減少が進んでいるので、雇用を増やし、地域の活性化につなげたいです。

恵まれた立地を生かす

温暖な気候でアクセスも良く、農業に適していると思



ます。特に東京に近いのは強みです。運送業で得た知識や人脈を生かし、物流と農業をつなぐ役割を果たすことで、両者を効率的に活性化できたら良いと思います。

農業に興味がある人へ

農業は過酷で儲からないというイメージがあるかもしれませんが、実際はやり方次第で利益を上げられ、自由が利く仕事です。新規就農を考えている人がいれば、契約や運送に関することなど、いろいろアドバイスができるので声をかけてほしいです。

失敗から学んだことを共有して、互いに成功できるように協力し合っていきましょう。



菅谷栄美さん

生まれも育ちもずっと旭市。農業大学を卒業後、2年近くさまざまな調査を行い、家庭菜園を経て、初期投資費用が少なく済むネギを採用。太さと柔らかさにこだわり栽培しています。ロードバイクのプロライセンスを所持し、大会にも参加していました。レースでも農業でも1番を目指しています。